

議会運営委員会 視察研修報告

視察日

平成27年2月5日～6日

視察先

- ・ 鹿嶋市大野周辺地区計画地
- ・ 東京都品川区教育委員会

視察内容

鹿嶋市鹿島大野3駅周辺地区計画について、計画地区内にある大野ふれあいセンターにて説明を受けました。鹿嶋市は、鹿島区域と大野区域の土地利用が異なる二つの都市計画区域があります。大野区域は、隣接する鹿島臨海工業地帯（鹿島区域）の後背地として宅地化が進行してきました。近年は、農地・緑地において小規模な住宅開発が散在的に行われ、道路整備・雨水排水施設整備が追いつかないこと、農地や自然環境の保全が図れないなどの課題が生じています。このままだと、災

害に弱く、安心して暮らせないまちになってしまう危機感からルールに沿った土地利用により、質の高いまちづくりを進めることとしました。このことから、鹿島大野地域として、鹿島大野周辺地区・荒野台駅周辺地区の3駅周辺地区計画が住みよい質の高い居住区間の形成を図るため、平成20年6月に茨城県より地区計画指定を受け、現在、拠点としてにぎわいのあるまちづくりを進めているとの説明がありました。本村でも現在、地区計画が進められている状況にあります。今後においても誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めていければと考えています。

二カ所目の視察地の品川区教育委員会において、品川教育改革、小中一貫教育について説明を受けました。

最初に、品川区の教育改革プラン21として、公立学校の

信頼の回復と教育改革の必要性、学校・教員が変わるためのシステムの構築、地方に根ざした教育改革で子どもたちに未来を考えたプランについての概要の説明がありました。



小中一貫教育についての説明

続いて、品川区の小中一貫教育の取り組みとして、学校教育の資質向上を図り、公立学校の復権を果たすため平成15年に国から「構造改革特別区域研究開発学校設置事業」の認定を受け、すでに先進的な教育改革を「プラン21」に基づいて推進してきたところ

で、教育特区としてこれまでの施策をより発展させ、義務教育9年間を一貫して発展する教育課程（小中一貫教育要領）を策定するなど、既成の概念にとらわれない新たな教育を積極的に推進しています。

品川区では、平成18年度からすべての区立小・中学校で、小中一貫教育を実施し、小中一貫では、小学校6年・中学校3年という壁を取り払い、系統的・継続的な教育活動を行っています。子どもの心や身体の発達を踏まえ、4・3・2制を採用し、1～4年生では基礎・基本の定着を図り、5～9年生の前半に当たる5～7年生は基礎・基本の徹底に重点をおいた指導、最後の8・9年生は強化、内容の選択の幅を増やし、生徒の個性・能力を十分に伸ばす指導を展開されています。

本村も先進地事例を参考に教育改革を加速できればと考えています。